

# 税についての作文

# 税

## のこと考えてみよう

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が共催で募集していた中学生の「税についての作文」で、永井一花さん（生保内中学校1年）の作品「命をつなぐ税金」が大曲地区税務団体協議会長賞、菊田大智さん（西明寺中学校3年）の作品「誰かのために税」が仙北市納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しましたので、全文（原文のまま）をご紹介します。



永井 一花さん  
(生保内中学校1年)

### 「命をつなぐ税金」

「税金って払っていいことなんてあるの？」私はぼそりと言った。  
私の将来の夢は命に関わる仕事をする事だ。ある日、母が医者の本を買ってきてくれた。「あんたこういう本読んでいたほうがいいよ」母に勧められてその本を読み始めた。本を読んでいくと、重傷患者が救急車から運ばれて来て、医者たちが緊迫した様子の場面があった。その場面である医者が言った。「一分一秒でも遅れると救えない命だ

ってあるんだぞ。気を抜くな」私はそんなに短い時間でも、落としてしまう命があるのだな。と思った。「お母さん、この本おもしろいよ。見てここ、一分一秒でも遅れると救えない命があるんだって」母は「そうだよ。お医者さんたちはこんな少ない時間でも大切に一生懸命治療しているんだよ」「そっついえばあなた税金って払っていいことなんてあるのみたいなこと言ってなかった？」ぼそりと言ったつもりだったが、母には聞こえていたようだ。「救急車を呼ぶときのお金は税金から出てるんだよ」え？今なんて言った？救急車って税金で？驚くと同時にこんなことが頭に浮かんだ。「もし税金がないと命を救えないって言うことになる？」

確かにそうだ。税金がない救急車が呼べないのだから、病院に患者さんを運ぶことができない。必死に生きようとしている患者さんを救えないということはどうなんかに悔しいことだろう。私が医者の立場だとしたら、救急車を呼べず、治療もできずに息絶えていく患者さんを見るなんてとても耐えられないだろう。私は救急車の大切さ、そして税金の大切さを感じることができた。

私は税金は「払うだけ」のものだと思っていた。でも、税金は救急車を呼ぶための費用になっていることを知って、税金は「命をつなぐもの」なのではないかと思うようになった。

これをきっかけに、税金についていろいろ調べてみた。調べてみると、税金は私達が勉強に使っている教科書や道路、信号、橋などにも使われていることが分かった。どれも私達にとって身近なものばかりだ。税金がないと私達の生活は不便になるだろうか、生活ができなくなってしまうだろう。

私はこれから、税金に感謝しながら納めていきたい。そして税金は私達の「命をつなぐもの」になっていることを忘れずに生きていきたいと思う。



菊田 大智さん  
(西明寺中学校3年)

### 「誰かのために税」

ある日の朝の会のこと。私のクラスには「コロコロトキング」という日直がサイコロを振って出た目のお題にそって自分の考えを発表するコーナーがある。その日のお題は「もしも私が首相になったら」というものだった。日直は「私が首相になったら税金を零%にします」と言った。これからは税率が8%から10%に上がることもあるせいか、「おあー」や「是非！」などの賛同の声が聞こえた。税について特に興味を持た

ない僕はなぜ税を上げる必要があるのかすら知らなかった。調べることにした。すると、主な理由は少子高齢化により医療費や年金などに使われていた税をさらに確保する必要があるので、ということが分かった。今までは何となく「なんで税金なんてあるんだよ!」と思っていた自分が恥ずかしく思える。

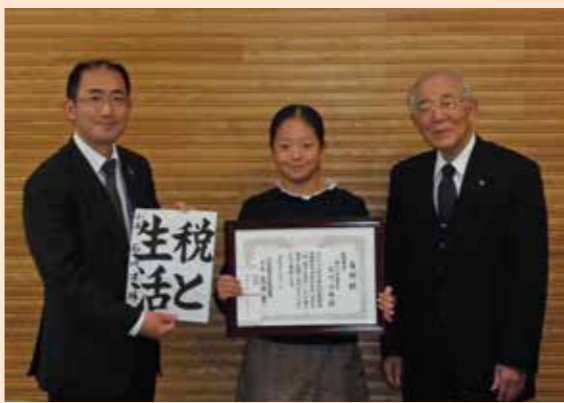
税金に対してマイナスのイメージしかなかったが、プラスでとらえることもできるようだ。日直に対して先生は「俺は税金がいくら高くなっても誰かのためになってるって考えたら嫌じゃないけどなあ」と言ったのだ。聞いた直後はとても驚いた。しかし、よく考えてみると正しくて、ある意味一つの社会貢献だと思えてきた。払った税金はお年寄りの方だけでなく、もしも自分が大きなけがをしてしまった時の医療費の一部になっているのだ。そして、増税の理由の一つの少子高齢化の要因の一つに教育費の高さがあると思うが、税金は子育て支援

にも使われているため、そういった問題に困っている家庭の手助けにもなり、少子化問題も改善されると考えられるのではないだろうか。よく調べてみると良い事づくしな税金。それを教えてくれた先生はかっこよかった。

この話を親戚のおじさんに話すと、「そう。だから俺がたばこを買うという行為も社会貢献の一つなんだよ」と自慢げにいわれた。私はまだ中学校三年生で買えるものはあまりしないのだが、もう少し大人になって友だちとお出かけするようになったら、「たかが10%の税金」とケチケチせずおじさんのように自慢げに「私は今、この商品の10%分の金額を国に募金し、社会貢献に努めているのだ!」と気持ちよく買える物ができるようなりたいと思う。税金についてはまだまだ知らないことが多いと思うが、今回この作文を通して興味をもつことができた。これからは、税金に対するプラスな考えを発信していきたいと思う。

# 税に関する習字

仙北市納税貯蓄組合連合会主催の小学生の「税に関する習字」で、石川才稀さん（神代小学校5年）の作品が最優秀賞を受賞しました。



右から仙北市納税貯蓄組合連合会の高橋達会長、最優秀賞を受賞した石川才稀さん、照井政裕校長。

## 入選

### おめでとう いぎんます

最優秀賞以外の入選者は次のとおりです。

※氏名の表記は原文のまま掲載しています。  
(敬称略)

**金賞** / 村岡ひまり（角館小学校2年）、山口海嘉（神代小学校4年）、村田藍（生保内小学校6年）

**銀賞** / やつやなぎわか（角館小学校2年）、新山心結（西明寺小学校4年）、関谷菜桜（同）、佐々木心（角館小学校5年）

**銅賞** / すず木こころ（角館小学校2年）、門脇せら（同）、堀井柚香（中川小学校3年）、村岡すみれ（角館小学校5年）、倉橋華月（同6年）